

## 阪南大学 2021 年度事業計画実施報告 外部評価報告書

評価実施日：2022 年 9 月 6 日

評価項目：□教育活動の充実に向けた取組 □研究活動の充実に向けた取組

評価実施外部団体：松原市役所

評価者所属：市長公室 企画政策課

氏名：井内 岳郎

2021 年度事業計画実施報告の外部評価を実施した結果、以下の通り報告します。

### 【総評】

教育活動の充実に向けた取組については、初年時教育やアクティブラーニングの推進等学生の学習意欲向上に向けた取組が行われており、計画に対する目標値を達成している項目が多くある。

また、社会人としての教養教育、キャリア教育、AI・データサイエンス関連教育等専門分野以外の教育も取り組むことで個々の学生の教育活動の充実につながっているものと考えられる。

これらの教育活動の結果として GPA の平均値の上昇や目標達成者数の増加に繋がっており、成果として出ていることから引き続き取組を進められたい。

研究活動の充実に向けた取り組みとしては、研究成果の情報発信、外部資金の獲得、図書館機能の充実等研究環境について整備が図られている。

また、産業界や地方自治体との連携し、様々な取組を進めている。

研究活動の充実においては目標の達成状況からも大きな課題等もないものと見受けられる。

### 【各評価項目】

各評価項目は別紙を参照

以上

2021 年度事業計画実施報告 外部評価票

評価者：松原市役所

評価項目	2021 年度事業計画（外部評価対象項目）
B-1	教育活動の充実に向けた取組 (1) 学部教育の充実と質の保証 (2) 大学院の充実 (3) 教育組織の充実 (4) 地域連携の推進 (5) 生涯学習の充実
評価点 (5 段階： 5 が最高 点、1 が最 低点)	5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
評価概評	(1) 学部教育の充実と質の保証について、初年時教育の取組、アクティブラーニングの促進、キャリア教育の推進や ICT の活用等学生の学習意欲向上の取組がなされており、その成果として GPA の平均値の上昇、目標達成者数の増加につながっているものと考えられ評価できる。 課題としては、初年時教育の後期出席率の悪化、社会人としての教養講座の履修状況の減少について改善する必要がある。 (2) 大学院の充実について、IoT 及び、AI・データサイエンスの知識習得に向けた設備の導入に向けた取り組みが行われている。また、修士論文の質が向上する取組が行われ、D 評価がなかったことは評価できる。 (3) 教育組織の充実について、キャンパス一元化及び学部・学科の再編に向けて計画に基づき進められている。 (4) 地域連携の推進について、セブンパークのオープニングイベントとしてのまつばらマルシェの共催、「La Matsubara」認定事業者への支援や吹奏楽の演奏等地域貢献・地域交流が行われており評価できる。 ハルカス大学事業については、社会連携課の移管により事業が縮小された印象を受けたが、本キャンパスを中心にして地域連携を進めるという点では評価できる。 (5) 生涯学習の充実について、リカレント教育の受講が 0 件ということで改善する必要がある。

- ・各評価項目の取組みについて、取組みの状況、結果、課題等を客観的に評価してください。
- ・評価項目は 5 段階評価点と評価の概評を記載願います。

2021 年度事業計画実施報告 外部評価票

評価者：松原市役所

評価項目	2021 年度事業計画（外部評価対象項目）
B-2	研究活動に充実に向けた取組 (1) 研究の推進 (2) 研究支援体制の充実 (3) 図書館機能の充実 (4) 地域連携の推進
評価点 (5 段階： 5 が最高 点、1 が最 低点)	5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
評価概評	(1) 研究の推進について、具体的な研究費や研究環境の満足度を上げる取組について記載がないためなんとも言えない。論文等研究業績が 2020 年度 258 件に対して 2021 年度は出張数が 64%増加して何件になったのかわからないが、「阪南論集」に投稿があった論文等は前年よりも増加しているため研究環境としては悪化していないものとする。 (2) 研究支援体制の充実について、科研費の獲得に向けて面談・指導等の支援申請数、採択数ともに増加している点について評価できる。 また、研究成果の情報発信として重視している「researchmap」の公開率・更新率の改善も進んでおり評価できる。 (3) 図書館機能の充実について、コロナ禍の状況においても対応できるようシステム等の整備によるオンライン対応等の取組が進められており、図書館の利用も回復しつつある。また、書庫や蔵書の整理も電子書籍の導入も取り入れながら進められている。 (4) 地域連携の推進について、産業界との連携においては、目標としていたコニカミノルタとの連携事業が実施され、セブンパーク天美との連携協定の締結等取組が進められている。 また、地域連携においては、松原市とまつばらマルシェの企画協力やまつばらブランド研究会の事務局としての活動のほか国際観光学部による調査業務の受託等自治体との連携も進められている。

- ・各評価項目の取組みについて、取組みの状況、結果、課題等を客観的に評価してください。
- ・評価項目は 5 段階評価点と評価の概評を記載願います。